

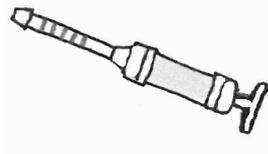
【活用問題】

「 物が燃えるとき 」	( ) 組 ( ) 番	氏名
-------------	----------------	----

まさおさんは、<sup>けんち</sup>ものが燃える前と燃えた後の空気について調べてみようと思いました。そこで、まず、<sup>わりあい</sup>気体検知管を使って、ろうそくが燃える前と燃えた後のびんの中の酸素と二酸化炭素がふくまれる割合を調べ、結果を表にまとめました。



ろうそくが燃える前の空気



気体検知管



ろうそくが燃えた後の空気

【結果】

	酸素用 気体検知管	二酸化炭素用気体検知管	
		0.5～8%用	0.03～1%用
ろうそくが ( ① ) の空気	21%	0.5%より少なかった。	0.04%
ろうそくが ( ② ) の空気	17%	3%	1%より多かった。

(1) ( ① )、( ② ) にあてはまる言葉を答えましょう。

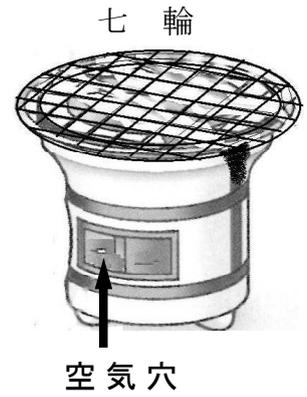
①		②	
---	--	---	--

(2) (1) のように考えた理由を結果の表をもとに書きましょう。

(3) ろうそくが燃えた後の空気は、酸素がなくなったのでしょうか。なくならなかったのでしょうか。どちらかに○をつけて、理由を書きましょう。

なくなった	理 由
なくならなかった	

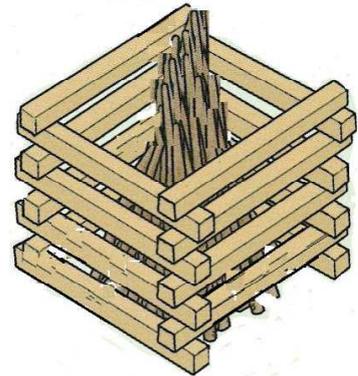
まさおさんは、ものが燃える仕組みについて調べているうちに、キャンプで焼き肉をしたことを思い出しました。準備のために、まさおさんは、七輪（簡単な土製のコンロ）に木炭をぎゅうぎゅうづめにして入れ、火をつけ七輪の空気穴をしめました。いったん火はつきましたが、木炭はじゅう分残っているのに火が消えてしまいました。そこで、まさおさんは、火が消えないようにするには、どうすればよいかを考え、いろいろとやってみると木炭は、燃え続けました。



(4) まさおさんは、火が途中で消えないように、七輪の空気穴や木炭をどのようにしたのでしょ。また、なぜそうした方がよかったのか理由を書きましょう。

空気穴 <sup>あな</sup>		理由	
木炭			

(5) まさおさんは、焼き肉の後にキャンプファイヤーをしたことも思い出しました。そのとき、まさおさんは、焼き肉での経験を生かして、キャンプファイヤーのまきがよく燃えるようにまきを右の図のように組みました。この組み方で、まきが燃え続けるために工夫している点を答えましょう。また、まきが燃えているときの空気の流れを矢印で下図にかきましょう。



工夫している点	